

一般質問



将来の市民の健康のために市の対応は 超低米価の下で市の農政はどうか

平岡 均

国保医療

質問 老人医療の実態に市はどうか。
どう考え、どう対応するの。

市長 四十八年に老人医療の無料化が実施され、それ以後経済の事情等に伴って制度も色々変わってきた。老人医療の対象者の数で約四倍、医療費で二十七倍と数字が上げられている。国の指導もあり秋田県後期高齢者医療広域連合という組織を作ること、仙北市としてもこの新しい制度設置に期待しているところである。

質問 国民年金の受給者が何人で受給額はいくらで、国民年金受給者が入院して費用は払えるのか。

市長 仙北市としては約一万人の受給者がおり、受給額約五十八億円である。

様々な制度の中で高齢者の人が入院された場合でも自己負担限度額が所得金額に応じて定められており、当然所得の少ない負担で済むような区分もある。

農業

質問 品目横段的経営安定対策が今日本列島をさわがしている現状で、この要件を

満たす農家は一割、九割は対象外であるし、収入減を補填するといっても農産物の価格が下がっていき補償される価格も減っていく。この政策が仮に失敗すれば百七十万トもの米の過剰が出るかも知れないといわれている。こんな中で規模拡大とか増産への意欲が湧くだろうか。

市長 四ha以上の認定農家、二・十ha以上の集落営農組織は大規模な効率の良い農業をしていただく。一方土地利用型以外の農業も伸ばして将来米が半分、他の農業作目を半分位までもつていこうと進めている。その為の支援ということだと思う。

仙北市でも集落営農が組織化されているので九割が対象外だとは思っていない。

教育

質問 そんなにいっぱいのお金は無くても最低の経済基盤は無いと文化も芸術も教育もいくら良いことを言ってもうまく行かないのではないだろうか。経済基盤を確立するというところで市長部局とも力を合わせて、教育行政運営の為に頑張ってもらいたい。
教養長 市民の皆さんが心の活動をめざすものが芸術文

化活動だと思っている。三区にあっては芸文協が一本になったが施設の有効利用、設備の充実、文化ボランティアの育成、施設設備の充実には色々な芸文活動に対する支援、そういうものの工夫をしていく。



心配される、老人医療のサービス